

DIALOG(R)File 347:JAPIO
(c) 1999 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05915764 **Image available**
COMMERCIAL INFORMATION OUTPUT DEVICE FOR POS TERMINAL

PUB. NO.: 10-198864 [JP 10198864 A]
PUBLISHED: July 31, 1998 (19980731)
INVENTOR(s): TOKUDA TOKUAKI
APPLICANT(s): NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP
 (Japan)
APPL. NO.: 09-002002 [JP 972002]
FILED: January 09, 1997 (19970109)
INTL CLASS: [6] G07G-001/01; G06F-017/60
JAPIO CLASS: 29.4 (PRECISION INSTRUMENTS -- Business Machines); 45.4
 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications)

ABSTRACT

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the validity of commercial information by switching a message to be printed on a receipt or a commodity image to be displayed on a display part for consumer through a switching control part every lapse of a preset switching time.

SOLUTION: A commercial information output device 10 is provided with a storage part 1 previously storing several kinds of different commercial information, timer part 2, and switching control part 3 for outputting the prescribed commercial information 1b in the storage part 1 to a receipt printing part 20 or a display part 30 for consumer every time the measured time of timer 2 shows the lapse of a previously set switching time 1a. A switching time setting part 4 for arbitrarily setting the switching time 1a is installed at the switching control part 3 together. Since the PR message to be printed on the receipt or the commercial image of commodity to be displayed on the display part 30 for consumer is periodically switched by the switching control part 3, the opportunity for shopping consumer to touch different commercial information every time visiting a shop is increased.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-198864

(43)公開日 平成10年(1998)7月31日

(51) Int.Cl.⁸

G 0 7 G 1/01
G 0 6 F 17/60

識別記号

301

F I

G 0 7 G 1/01
G 0 6 F 15/21

3 0 1 D
3 1 0 Z

審査請求 有 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平9-2002

(22) 出願日

平成9年(1997)1月9日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72) 発明者 徳田 篤明

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

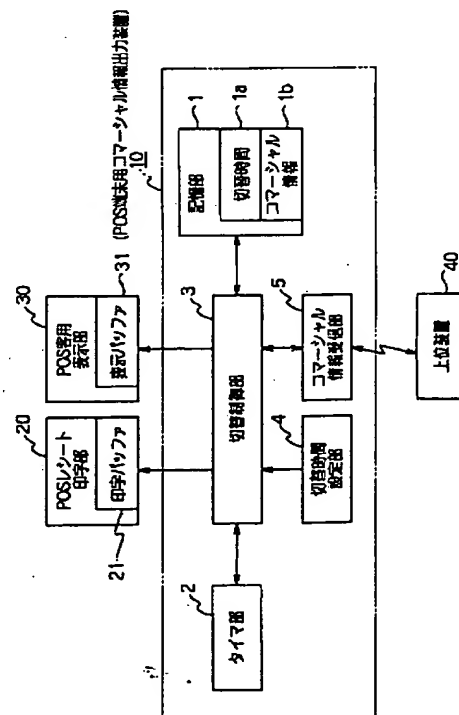
(74) 代理人 弁理士 高橋 勇

(54) 【発明の名称】 POS端末用コマーシャル情報出力装置

(57) 【要約】

【課題】 POS端末でレシートや客用表示部に出力される商業情報の有効性を向上すること。

【解決手段】 異なる数種類のコマーシャル情報が予め格納された記憶部１と、時間を計測するタイマ部２と、このタイマ部２による計測時間が予め設定された切替時間１ａを経過する毎に記憶部１の所定のコマーシャル情報１ｂをＰＯＳ端末のレシート印字部２０又は客用表示部３０に出力する切替制御部３とを備えたこと。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 異なる数種類のコマーシャル情報が予め格納された記憶部と、時間を計測するタイマ部と、このタイマ部による計測時間が予め設定された切替時間を経過する毎に前記記憶部の所定のコマーシャル情報をPOS端末のレシート印字部又は客用表示部に出力する切替制御部とを備えたことを特徴とするPOS端末用コマーシャル情報出力装置。

【請求項2】 前記切替制御部に、前記切替時間を任意に設定可能な切替時間設定部を併設したことを特徴とする請求項1記載のPOS端末用コマーシャル情報出力装置。

【請求項3】 前記切替制御部に、外部の上位装置からコマーシャル情報を受信可能なコマーシャル情報受信部を併設すると共に、前記切替制御部が、前記コマーシャル情報受信部で受信されたコマーシャル情報を前記記憶部に更新する更新機能を備えていることを特徴とした請求項1記載のPOS端末用コマーシャル情報出力装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、POS端末用コマーシャル情報出力装置に係り、特に、レシートに付記される商店のPRや、POS端末に付設の客用表示部に表示する商品のコマーシャル画像等を出力するPOS端末用コマーシャル情報出力装置に関する。

【0002】

【従来の技術】以前よりPOS端末で印字されるレシートには、買い上げ商品の明細の他に、予め登録した商店のPRやメッセージ等を付記できるようになっている。また近頃、コンビニエンスストア等に設置されたPOS端末では、買い物客が見える位置に大きい表示部を付設し、そこに商品のコマーシャル画像等を表示できるようになっている。これらは、商店のイメージ向上や商品の売上向上に寄与している。ここで、レシートに印字するメッセージや表示する商品イメージは、所定の設定部を操作して新たなメッセージや画像を登録することで変更できるようになっていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例にあつては、メッセージや画像を変更するためには、オペレータが新たなメッセージや画像を入力してやる必要があったから、商店の営業開始前や営業終了後でなければ変更作業を行うことができなかった。また、新たなメッセージの入力作業は煩雑だったので、一般には一度入力されたメッセージや画像をそのまま長期間変更せずを使用することが多かった。このため、これらのコマーシャル情報は、買い物客にとって次第に情報価値の低いものとなり、あまり見向きされなくなっていた。よって、コマーシャルの有効性に乏しいものとなっていた。

【0004】また、ある特定の客層を狙ったメッセージや画像等を登録した場合は、時間帯に応じて客層が異なるところ、例えば、OLやサラリーマンの来店が集中する時間帯（夕方など）に、彼らが興味を示さないコマーシャル情報が提供される場合もあり、この点においても印字又は表示するコマーシャルの有効性に改善の余地があった。

【0005】

【発明の目的】本発明は、かかる従来例の有する不都合を改善し、特に、POS端末でレシートや客用表示部に出力されるコマーシャル情報の有効性を向上するPOS端末用コマーシャル出力装置を提供することを、その目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の発明では、異なる数種類のコマーシャル情報が予め格納された記憶部と、時間を計測するタイマ部と、このタイマ部による計測時間が予め設定された切替時間を経過する毎に記憶部の所定のコマーシャル情報をPOS端末のレシート印字部又は客用表示部に出力する切替制御部とを備えた、という構成を採っている。本発明では、切替制御部により、予め設定された切替時間を経過する毎にレシートに印字されるメッセージや客用表示部に表示される商品画像等が切り替えられる。

【0007】また、請求項2記載の発明では、切替制御部に、切替時間を任意に設定可能な切替時間設定部を併設した、という構成を採っている。本発明では、切替時間設定部を操作することにより、コマーシャル情報の切替時間を好みに応じて自在に設定する。

【0008】更に、請求項3記載の発明では、切替制御部に、外部の上位装置からコマーシャル情報を受信可能なコマーシャル情報受信部を併設すると共に、切替制御部が、コマーシャル情報受信部で受信されたコマーシャル情報を記憶部に更新する更新機能を備えている、という構成を採っている。本発明では、時節に応じて上位装置からコマーシャル情報が送信され、記憶部のコマーシャル情報が適切なものに更新される。

【0009】これらにより、前述した目的を達成しようとするものである。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図1に基づいて説明する。

【0011】図1に示すPOS端末用コマーシャル情報出力装置10（以下、コマーシャル情報出力装置という。）は、異なる数種類のコマーシャル情報1bが予め格納された記憶部1と、時間を計測するタイマ部2と、このタイマ部2による計測時間が予め設定された切替時間1aを経過する毎に記憶部1の所定のコマーシャル情報1bをPOS端末のレシート印字部20又は客用表示

部30に出力する切替制御部3とを備えている。

【0012】切替制御部3には、切替時間1aを任意に設定可能な切替時間設定部4が併設されている。また、切替制御部3には、外部の上位装置40からコマーシャル情報1bを受信可能なコマーシャル情報受信部5が併設されている。ここで、切替制御部3は、コマーシャル情報受信部5で受信されたコマーシャル情報1bを記憶部1に更新する更新機能を備えている。

【0013】これを更に詳述すると、本実施形態において、記憶部1には、RAM、ROM等の半導体メモリの他、ハードディスク装置等の外部記憶が含まれる。記憶部1に格納される切替時間1aとしては、異なる複数の値を格納できるようになっている。一方のコマーシャル情報1bは、レシート印字用のものと画像表示用のものとがそれぞれ数種類格納されている。コマーシャル情報1bとしては、商品の広告情報、ニュースやセール情報等を格納されれば良い。

【0014】また、タイマ部2は、時間の他、日付（年月日）、曜日、時刻等を算出可能なものが望ましい。このタイマ部2と切替制御部3は、CPUが予め準備されたプログラムを実行することにより実現されれば良い。このCPUはPOS端末のCPUであっても良い。

【0015】切替時間設定部4は、例えばキーボードであって、数値入力が可能なのであれば良い。POS端末のキー入力部を利用する構成としても良い。また、コマーシャル情報受信部5は、ホストコンピュータ等の上位装置40と所定のネットワーク網を介して通信可能なインタフェースである。POS端末がホストコンピュータと通信するためのインタフェースを利用し、POS端末のホストコンピュータからコマーシャル情報を受信可能としても良い。

【0016】POSレシート印字部20は、POS端末のレシート印字部であって、印字バッファ21や印字制御部（図示略）を含んでいる。同様に、POS客用表示部30も、POS端末の客用表示部であって、表示バッファ31や表示制御部（図示略）を含んでいる。

【0017】次に、本実施形態の全体動作を図1を参照しつつ説明する。

【0018】まず、オペレータは、切替時間設定部4を操作してコマーシャル情報の切替時間を設定する。例えば、 $t_1=2$ 時間と、 $t_2=1$ 時間という2つの切替時間を設定する。この設定値は、切替制御部3により記憶部1に格納される。

【0019】次いで、切替制御部3は、記憶部1から第1の印字用コマーシャル情報と第1の表示用コマーシャル情報とをそれぞれ記憶部1から読み出し、それぞれPOSレシート印字部20とPOS客用表示部30に入力する。POS客用表示部30は、表示バッファ31に入力されたコマーシャル情報（商品画像等）を客用表示器に表示させる。また、POSレシート印字部20は、入

力されたコマーシャル情報を印字バッファ21に保持し、POS端末から印字命令を受けると、印字バッファ内のデータをレシートにプリントアウトする。

【0020】切替制御部3は、最初のコマーシャル情報の出力と同時にPOSタイマ部2にリセット信号を出力し、タイマ部2による計時をリセットスタートさせる。タイマ部2からは、逐次計測時間が出力され切替制御部3に入力される。切替制御部3は、タイマ部2の計測時間を定期的に第1の切替時間 $t_1=2$ 時間と比較し計測時間が t_1 に達するまで待機する。この間は、レシートには第1の印字用コマーシャル情報が印字され、客用表示器には第1の表示用コマーシャル情報が表示される。

【0021】その後、タイマ部2の計測時間が第1の切替時間 t_1 を経過すると、切替制御部3は、第2のコマーシャル情報を記憶部1から読み出し印字バッファ21と表示バッファ31に更新し、タイマ部2の計時をリセットスタートさせる。続いて切替制御部3は、第2の切替時間 t_2 が経過するまで待機する。この間は、レシートには第2の印字用コマーシャル情報が印字され、客用表示器には第2の表示用コマーシャル情報が表示される。ここで、印字用コマーシャル情報の切替時間と表示用コマーシャル情報の切替時間とを異なる時間に設定されても良い。

【0022】その後、タイマ部2の計測時間が第2の切替時間 t_2 を経過すると、切替制御部3は、第3のコマーシャル情報を記憶部1から読み出し印字バッファ21と表示バッファ31に更新し、タイマ部2の計時をリセットスタートさせる。

【0023】以降、切替制御部3は、第1の切替時間、第2の切替時間と交互に切替時間を変えながら逐次所定のコマーシャル情報を印字バッファ21及び表示バッファ31に更新してゆく。

【0024】切替制御部3は、設定された切替時間が一つの場合は当該一つの切替時間のみを採用し、一定時間毎にコマーシャル情報を更新する。他方、複数の切替時間 $t_1 \sim t_n$ ($n=1, 2, 3, \dots$) が設定された場合は、当該複数の切替時間を $t_1, t_2, \dots, t_n, t_1, t_2, \dots, t_n, t_1, \dots$ というように交互に周期的に採用し、一定の規則に従って周期的にコマーシャル情報を更新する。

【0025】これによると、レシートに印字されるPRメッセージや客用表示器に表示される商品のコマーシャル画像等が定期的に切り替えられるので、買い物客は来店する度に異なるコマーシャル情報に触れる機会が増し、印字され又は表示されるコマーシャル情報に自然と注目するようになるところ、POS端末から提供されるコマーシャル情報の有効性を向上することができる。

【0026】特に、コマーシャル情報の切替時間は、切替時間設定部4から自在に伸長が可能であるから、客足の多少等の商店の特性に合わせてコマーシャル情報の有

10

20

30

40

50

効性を最大限に高めるような切替時間を設定することが可能である。

【0027】また、記憶部1のコマーシャル情報1bを時節に応じて変更する場合は、上位装置40に新たなコマーシャル情報を準備し、この上位装置から複数のPOS端末用コマーシャル出力装置10に配信する。各コマーシャル出力装置のコマーシャル情報受信部5で新たなコマーシャル情報が受信されると、それが切替制御部3により記憶部1に更新される。例えば、クリスマス関連のコマーシャル情報から年末年始のコマーシャル情報へまとめて差し替えるような場合にこの処理を実行する。

【0028】これによると、記憶部1の記憶容量を必要最小限な容量に止めることができるので装置コストの低減を図ることができる。また、装置の稼働中であれば、商店の営業時間等に左右されずコマーシャル情報を新しいものと入れ替えることが可能となるので、時節に応じたコマーシャル情報の差し替えを容易に行うことができる。特に、大規模なチェーン店乃至フランチャイズ店であれば、それらの各所に設置されたPOS端末のコマーシャル情報を一斉に新しいものと差し替えることができるので、作業労力の大幅な軽減を図ることができる。

【0029】ここで、コマーシャル情報は、テキスト、静止画、動画、音声等のいずれでも良く、これらの情報の管理はファイル単位(***.TXT、***.JPG、***.MPG等)で行われても良い。また、印字バッファ21又は表示バッファ31へコマーシャル情報を更新する際は、各バッファに新たなコマーシャル情報を格納した後に、先に格納されていたコマーシャル情報を削除しても良い。また、上記実施形態では、逐次タイマ部2の計時をリセットして切替時間の経過を判断したが、タイマ部2が出力する時刻から切替時間の経過を判断するようにしても良い。より具体的には、印字バッファ21又は表示バッファ31にコマーシャル情報を更新した時の更新時刻を記憶し、この更新時刻に切替時間を加えた次回更新時刻を算出し、タイマ部2の出力時刻が次回更新時刻に達したときに次のコマーシャル情報を印字バッファ21又は表示バッファ31に更新するようにしても良い。

【0030】次に、本発明の他の実施形態に言及すると、図1において、記憶部1には1日の時刻毎に印字又は表示するコマーシャル情報を対応させて格納しておく。例えば、午前9時～12時はコマーシャル(1)、午後12時～3時はコマーシャル(2)、午後3時～7時はコマーシャル(3)、...のようにデータベース化して格納しておく。そして、切替制御部3は、タイマ部2が出力する年月日、曜日、時刻の情報を監視し、当該タイマ部2の出力時刻に対応するコマーシャル情報を記憶部1から読み出して印字バッファ21及び表示バッファ31に更新するようにする。

【0031】これによると、提供するコマーシャル内容

と時刻の設定を最適化することで、来店する客層に合った最適なコマーシャル情報を出力することが可能となり、コマーシャル情報の有効性を更に向上させることができる。

【0032】ここで、コマーシャル情報の切替時刻は印字用と表示用とで異なる時刻に設定されていても良い。

【0033】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成され機能するので、これによると、切替制御部によりレシートに印字されるPRメッセージや客用表示器に表示される商品のコマーシャル画像等が定期的に切り替えられるので、買い物客は来店する度に異なるコマーシャル情報に触れる機会が増し、印字され又は表示されるコマーシャル情報に自然と注目するようになるところ、POS端末から提供されるコマーシャル情報の有効性を向上することができる。

【0034】特に、請求項2記載の発明では、コマーシャル情報の切替時間は、切替時間設定部4から自在に伸長が可能であるから、客足の多少等の商店の特性に合わせてコマーシャル情報の有効性を最大限に高めるような切替時間を設定することが可能である。

【0035】更に、請求項3記載の発明では、上位装置から新たなコマーシャル情報の供給が可能であるから、記憶部の記憶容量を必要最小限な容量に止めることができ、装置コストの低減を図ることができる。また、装置の稼働中であれば、商店の営業時間等に左右されずコマーシャル情報を新しいものと入れ替えることが可能となるので、時節に応じたコマーシャル情報の差し替えを容易に行うことができる。特に、大規模なチェーン店乃至フランチャイズ店であれば、それらの各所に設置されたPOS端末のコマーシャル情報を一斉に新しいものと差し替えることができるので、作業労力の大幅な軽減を図ることができる、という従来にない優れたPOS端末用コマーシャル情報出力装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態を示すブロック図である。

【符号の説明】

- 1 記憶部
- 1a 切替時間
- 1b コマーシャル情報
- 2 タイマ部
- 3 切替制御部
- 4 切替時間設定部
- 5 コマーシャル情報受信部
- 10 POS端末用コマーシャル情報出力装置
- 20 POSレシート印字部
- 21 印字バッファ
- 30 POS客用表示部
- 31 表示バッファ
- 40 上位装置

【図1】

